

## 医療系分野で学ぶ留学生のための漢字教科書の開発 (既存の漢字教科書との関係)

稲田 朋晃<sup>A</sup>, 品川 なぎさ<sup>B</sup>, 山元 一晃<sup>B</sup>, 佐藤 尚子<sup>C</sup>

### 1 はじめに

近年、医療や福祉の分野で日本語を学習する外国人が増加しており、これらの学習者を対象とした漢字教材が刊行されつつある(アークアカデミー 2018 など)。しかし、これらの教材は、現在のところ EPA (経済連携協定) 看護師・介護士候補者を対象とした教材がほとんどであり、今後、より多様なニーズに応える漢字教材の開発が望まれる。

稲田・品川・山元は、医療福祉系の大学で医学部、看護学部などに在籍する留学生に日本語の指導を行っているが、医療分野で使われる漢字(以下、医療漢字とする)を指導することの難しさを日々感じている。医療漢字には、他分野の漢字と比べて常用漢字外の漢字が多い(笹原 2010)、既存の漢字教材でカバーできる部分が少ないからである。

このような状況のなか、筆者らは医療漢字に特化した漢字教材『医療の漢字ワークブック』の企画および制作を開始した。本稿では、上記教材の制作過程と、その特徴について述べる。

### 2 本教科書の概要

本教科書は、医療系分野で学ぶ留学生を主な対象者とした漢字教材である。

「解剖学」「疾患」など、テーマが異なる全 30 課から構成され、1 課で 26~27 字程度を学習する。総学習漢字数は 800 字となる。

各課は、「その課のテーマを示す導入部」「学習漢字の読み、意味、例語などを学習する部分」「書き練習、読み練習などを行う問題部分」などから構成される。

(ただし、現在制作途中であるため、以上の点は変更の可能性もある。)

### 3 制作過程

筆者らは、2017 年 12 月より本教科書の制作を開始しているが、現在までの制作過程は、おおよそ下記のとおりである。

1. 医師国家試験 6 回分(第 106 回~第 111 回)のテキストに掲載されているすべての漢字を抽出した。
2. 1. で抽出した漢字から佐藤・佐々木(2014、以下『初級 300』)および佐藤・佐々木(2017、以下『中級 700』)と重複している漢字を削除し、さらに出現頻度の低い漢字などを削除し、学習漢字 800 字を決定した。
3. 1. のテキストを Mecab と Unidic で形態素解析し、対数尤度比により特徴度を算出した資料(山元ほか 印刷中)を用い、例語候補を選んだ。その後、試験問題を目視しながら例語を修正・追加した。
4. 各例語に、MeSH のツリー番号を付与した。MeSH とは、米国国立医学図書館(NLM)が定める医学用語集であり、約 230,000 の見出し語が領域ごとにツリー構造で整理されている。この番号を用いれば、医学の観点からの分類ができる。
5. MeSH に掲載されていない例語については、国立国語研究所が提供している『分類語彙表—増補改訂版データベース』の分類番号を付した。
6. 4. と 5. で付した分類番号を参考にしながら 26 字~27 字をひとまとまりとした 30 課を作成した。

現在は、読みと英訳をつける、練習問題を作成する、などの作業を進めている。

A: 国際医療福祉大学医学部

B: 国際医療福祉大学総合教育センター

C: 千葉大学国際教養学部

表 1 : 医師国家試験に出現する漢字のカバー率

	初級 300+中級 700 +医療 (800)	初級 300+中級 700 +上級 1000	初級 300+中級 700
異なり漢字	94.6%	85.8%	51.2%
のべ漢字	99.9%	97.0%	79.4%

## 4 本教科書の特徴

### 4.1 既刊の初級・中級漢字教材との関係

本教材の第一の特徴は、既刊の中級漢字教材との関係を考慮している点である。本教科書は、佐藤が制作に関わった『初級 300』および『中級 700』の学習終了後に取り組みを前提にデザインされている。

具体的には、3節で述べたように、学習漢字を選定する際に、上記教材に掲載されている初級・中級レベルの漢字 1000 字との重複が起こらないようにしている。

紙面デザインや編集方針の面でも共通点を持たせているため、学習者は『中級 700』で中級レベルの一般的な漢字学習を終了した後、スムーズに専門漢字の学習に移行することができる。

### 4.2 医師国家試験への対応

第二の特徴は、医師国家試験の試験対策に対応しているということである。

掲載漢字はすべて医師国家試験 6 回分のテキストデータから抽出し、出現頻度を考慮して選択している。また、例語については、3節で述べたように、特徴度を参考に医師国家試験に特徴的な語を優先的に選んでいる。さらに、練習問題に用いる文も、すべてを医師国家試験から採用する予定である。

そのため、本教科書は医師国家試験対策の 1 ツールとして用いることができる。

医師国家試験に対応しているとはいえ、他の医療分野の試験対策や学習にも十分活用できると考える。体の部位、病名などに用いられる漢字は、他の医療分野と共通する点が多いからである。

### 4.3 医師国家試験のカバー率

本教科書が医師国家試験にどの程度対応しているかを分かりやすく示すために、医師国家試験に出現する漢字のカバー率を表 1 に示した。

最左列が、『初級 300』『中級 700』『医療の漢字ワークブック』に掲載されているすべての漢字 (計 1800 字) が、医師国家試験の漢字をどの程度カバーしているかを表したものである。

比較対象として、上級漢字教科書である佐藤・佐々木 (2011、以下『上級 1000』とする) と『初級 300』『中級 700』を合わせた漢字のカバー率、および『初級 300』『中級 700』のみのカバー率を示す。

異なり漢字、のべ漢字の両者において、『上級 1000』と組み合わせた場合より、『医療の漢字ワークブック』と組み合わせた場合のほうが、カバー率が高くなっていることが分かる。

## 5 今後の課題

今後は、医学の漢字に顕著に見られる異体字 (例: 「頸」と「頸」、「膻」と「膻」) や、間違いやすい漢字 (例: 「沫」と「抹」) などの情報を加え、さらに内容を充実させたいと考えている。

### 引用資料

- アークアカデミー. (2018). 介護・看護の漢字とことば N3 レベル編. 三修社.
- 笹原宏之. (2010). 学術用語と漢字. JSL 漢字学習研究会誌, 2, 1-14
- 佐藤尚子, 佐々木仁子. (2011). 留学生のための漢字の教科書上級 1000. 国書刊行会.
- 佐藤尚子, 佐々木仁子. (2014). 留学生のための漢字の教科書初級 300 改訂版. 国書刊行会.
- 佐藤尚子, 佐々木仁子. (2017). 留学生のための漢字の教科書中級 500 改訂版. 国書刊行会.
- 山元一晃, 稲田朋晃, 品川なぎさ. (印刷中). 医師国家試験の名詞語彙の対数尤度比に基づく分析と教材開発の可能性. 日本語/日本語教育研究, 9.